

●施工後、必ずお施主様へお渡しください。

施工説明書 取扱説明書

PRIME/SHEETシリーズ

収納両開き戸 三方枠・四方枠

<固定/スリム枠100>インセット

●施工の前にこの説明書をよくお読みの上、正しく施工してください。

使用上の注意

- 扉の開閉は静かに行ってください。
乱暴に扱くと扉が破損したり脱落する恐れがあります。
- 扉の把手にぶら下がったり、扉に持たれたりしないでください。
扉が破損したり脱落する恐れがあります。
- 扉に指をはさまないように把手を持って正しく操作してください。
特に小さなお子様には十分にご注意ください。
- ストーブ等の熱源を近くに置かないでください。
扉が反ったり、表面がゆがんだりすることがあります。

施工上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外や浴室等水がかかり部分や他の用途への使用はおやめ下さい。
- 枠セットや建具本体は立て掛けず、水平の状態にて保管してください。
- 枠を躯体へ取り付ける際は、必ず水平と垂直を確認してください。
- 枠をコンクリートやモルタルへの直付けはしないで下さい。
やむをえず直付けする場合は、枠木口と下地面の間に必ず防水処理をして下さい。
- 枠の組立、取り付けには同梱のビスを使用して下さい。
他のビスを使用すると、脱落や垂下がり等の原因となります。
- 施工中、建具本体は養生・保全し、湿気が多い場所、直射日光の当たる場所、昼夜などで温度差の激しい場所には置かないで下さい。
- 塗り壁の場合は壁が十分に乾燥してから建具本体を吊り込んで下さい。
- 施工後は傷や汚れを防ぐ為に、ダンボールなどでしっかりと養生をして下さい。
- 部材が汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布で拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
注)シンナー、ベンジン、アルコール等の溶剤は変色・変質の原因となります。

部材・部品の確認

■部材・部品の構成内容

	部材・部品名	数量	備考
扉セット	扉本体	2	
枠セット	把手	2	付属ビス2本付き (J取手以外)
	上枠	1	
	縦枠	2	
	下枠	1	(四方枠のみ)
	内寸定規	1	(四方枠の場合は無し)
	ドアストップ	2	付属ビス2本付き
	クリアバンポン	2	
	ビスセット	1式	※1 参照

※1 ビスセット 内訳					
サイズ	組立ビス Φ3.8*55	PRIME		SHEET	
		施工ビス 段取調整ビス L=55	ビスキャップ	施工ビス 段取調整ビス L=55	ビスキャップ
0709	4(8)	6	0	6	1
0712	4(8)	6	0	9	1
0720	4(8)	6	0	9	1
0722	4(8)	9	0	9	1
0724	4(8)	11	0	11	1
1220	4(8)	6	0	11	2
1222	4(8)	9	0	11	2
1224	4(8)	11	0	14	2

()は4方枠

収納両開き戸金物リスト		
部品名	Hサイズ	数量
スライド丁番 ※ビス同梱	09	4
	12	6
	20	8
	22	8
	24	10
ベースプレート ※ビス同梱	09	4
	12	6
	20	8
	22	8
	24	10
ダンパー金物 (グリッサンド3)	09	2
	12	4
	20	4
	22	4
	24	4

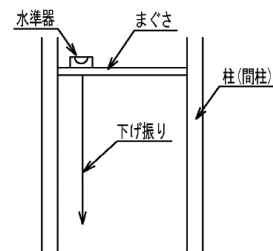
必要梱包

扉セット+枠セット+収納片開き戸金具

施工手順

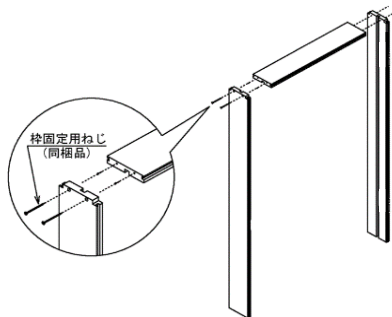
準備

- 開口寸法に製品寸法を照合確認して下さい。
- 施工の際は下げ振り、水準器を利用し開口部(まぐさ、梁、柱等)の水平・垂直・柱相互の前後の倒れが無いがよく確認し、建具等を設置する開口部の幅、高さの寸法精度を十分に確認して下さい。



1. 枠の組み立て

- 縦枠、上枠を枠固定用ビス(同梱品)で固定してください。



- 縦枠と上枠にずれが無いことを確認して下さい。

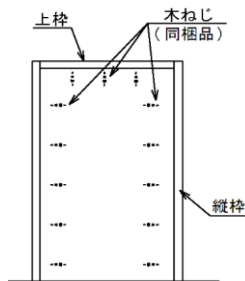
2. 枠の取り付け

- 枠を開口部にはめ込み、縦枠・上枠のリード穴から開口部(柱等)に木ねじで固定して下さい。
- 枠と調整材の間に接着剤を塗布して下さい。

● 枠取り付け寸法精度基準

建て入れ	: 誤差2mm以下
内法高さ・幅	: 差異2mm以下
建具枠と建具の空き	: 空き寸法の差異1mm以下
縦枠上下の内寸法	: 差異2mm以下

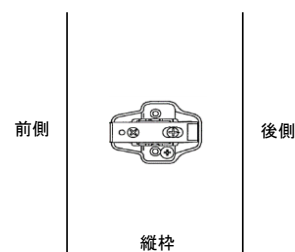
※建具の動作に支障をきたす恐れがあるため、上枠寸法精度を厳守して下さい。



※施工ビスで枠を固定しビスキャップで穴を塞いで下さい。

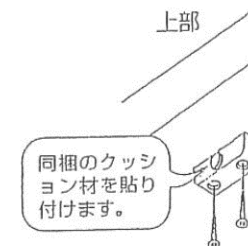
3. ベースプレートの取り付け

縦枠にベースプレートを同梱ビスで取付けて下さい。



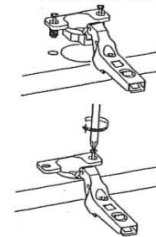
4. ドアストッパーの取り付け

上枠にドアストッパーを同梱ビスで取付けて下さい。



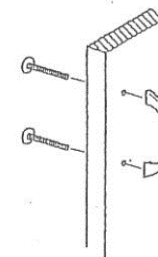
5. 丁番の取り付け

扉に丁番本体を同梱ビスで取付けて下さい。



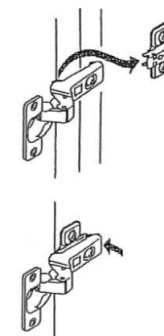
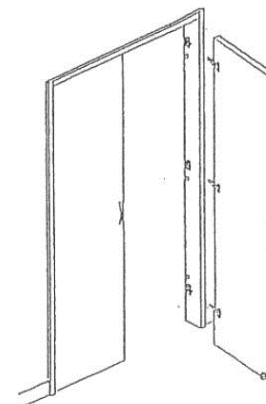
6. 取手の取り付け

扉に取手を同梱ビスで取付けて下さい。(取手付の場合)



7. 扉の吊込み

扉を下図のように吊り込んで下さい。



8. 扉の調整方法

扉を取付けた後、下記の方法で扉と枠の隙間を調整して下さい。

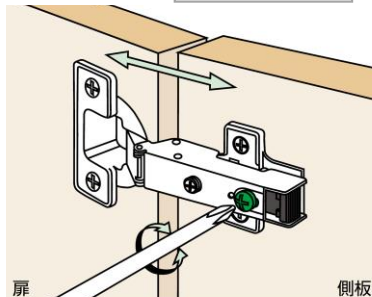
調整ネジ 名称

上下調整ネジ

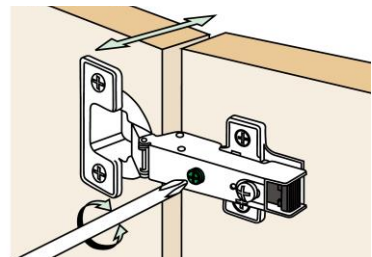
左右調整ネジ

固定ネジ

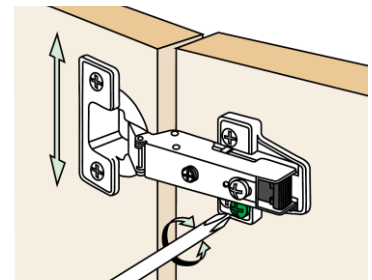
- 扉の前後調整（調整範囲 前方向2mm 後方向2mm 計4mm）
扉が枠より飛び出したり、左右の面が合わない場合、丁番の固定ネジをゆるめて前後調整した後、締め直して下さい。



- 扉の左右調整（調整範囲 右方向2mm 左方向2mm 計4mm）
扉が縦枠に擦れたり、扉同士が擦れている場合、丁番の固定ネジを締めたままで、左右調整ネジを回して左右調整して下さい。



- 扉の上下調整（調整範囲 前方向1.5mm 後方向1.5mm 計3mm）
（ハースプレートにより移動が可能です）
扉が上枠、下枠、床に擦れている場合、丁番の上下調整ネジをゆるめて調整した後、締め直して下さい。



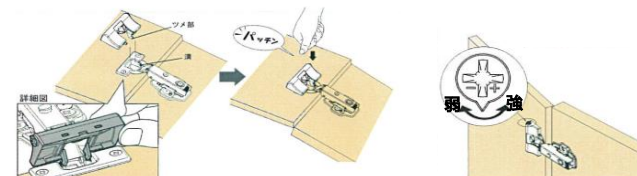
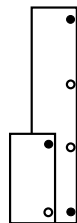
9. ダンパーの取り付け

グリッサンド-2（ソフトクローズ金具）取付け方法

①丁番数により●の位置に取り付けてください

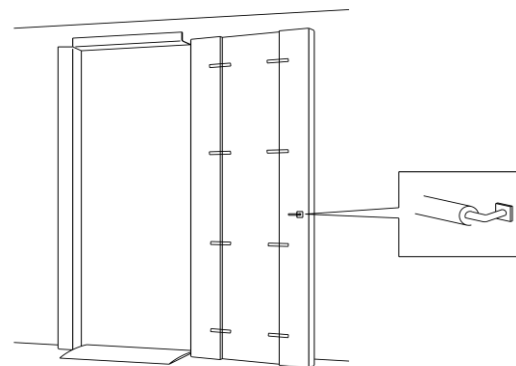
- ②下図のようにスライドヒンジカーブ面の溝にグリッサンド-2のツメ部を差し込んでください。
- ③グリッサンド-2をパチンと音がするまでカップ側に倒します。

④調整方法
マイナス（時計回り）⇒ 弱
プラス（反時計回り）⇒ 強



10. 養生

- 枠・扉の取付けが終了したら、傷がつかないように扉・枠をダンボールなどで養生して下さい。
- 把手金具・丁番は布やミラーマットなどで養生して下さい。



- 扉を壁に立てかけて保管しないで下さい。
扉が反る恐れがあります。

